

「Retalabo運営等を通じたNext Horizon Sustainable City推進業務」評価基準

(各項目 5点満点 合計100点満点)

I. 業務の理解度・基本方針 (3項目)		
1	都市ビジョンの深い理解	北九州市が掲げる「Next Horizon Sustainable City」の理念や背景（公害克服の歴史等）を正しく理解しているか。
2	「リタラボ」の本質的定義	単なる施設運営ではなく、「変革の主体」を育む共創拠点としての役割を的確に捉えているか。
3	都市価値の継承と進化	「利他性」「再生性」というキーワードを、現代かつグローバルな文脈でどう解釈しているか。
II. コンセプト開発・ブランド設計 (5項目)		
4	ナラティブ（物語）の創造性	都市の価値を国内外に発信するための、ストーリー性豊かなコンセプトを提示できているか。
5	独自性・世界観の魅力	外部から見ても「参加したくなる」ような、独創的で魅力的なブランドイメージを提案しているか。
6	体験デザイン（UX）の具体性	拠点を訪れる、あるいは関わる人々がどのような体験を経て「変革の主体」に変わるか、シナリオが描かれているか。
7	クリエイティブの方針	コンセプトブックや視覚情報のデザイン方針に、本プロジェクトにふさわしい質とセンスが感じられるか。
8	グローバル発信の視点	世界の複雑な課題解決を牽引する都市として、海外へ響く発信戦略を持っているか。
III. 共創・コミュニティ構築 (4項目)		
9	多様な主体の参画促進	行政、企業、大学、市民を、それぞれの動機（インセンティブ）に基づき巻き込む具体的な仕掛けがあるか。
10	継続的な熱量の維持	一過性のイベントで終わらず、熱量を持ち続けるコミュニティを維持・拡大させる仕組みがあるか。
11	産官学金民の連携モデル	「金（金融）」を含む多様なセクターが、具体的プロジェクトにどう関与するかの体制案が優れているか。
12	ファンリレーション能力	多様なステークホルダーの合意形成を円滑に進めるための手法や経験が示されているか。
IV. 都市変革プロジェクトの創出・推進 (4項目)		
13	課題抽出プロセスの妥当性	地域特性や社会的要請に基づき、真に解決すべき都市課題を特定する手法が優れているか。
14	社会実装へのリアリティ	アイデア出しに留まらず、実証から社会実装、事業創出へとつなげる具体的なプロセスを描けているか。
15	評価視点とKPIの設定	プロジェクトの成否を判断するための評価基準や、効果検証の考え方が論理的か。
16	外部ネットワークの活用	国内外の先進事例や外部知見を、プロジェクトの質を高めるためにどう活用するか。
V. 実施体制・マネジメント (4項目)		
17	専門家チームの質	戦略、リサーチ、デザイン等、仕様書が求める各分野で高い実績を持つメンバーが配置されているか。
18	プロジェクト管理能力	令和9年3月までのタイトなスケジュールに対し、工程管理やリスク管理が適切か。
19	成果物の実用性	納品される計画書やガイドラインが、受託期間終了後も市が自走するために活用しやすい形を想定しているか。
20	独自の付加価値提案	仕様書の内容を超えて、本事業の効果を最大化させるための独自の提案や工夫が含まれているか。

評価基準等

評価点	評価基準
5	評価項目を十分に満たしており、期待を大きく上回る提案である
4	評価項目を十分に満たしており、期待を上回る提案である
3	評価項目を満たしており、期待できるレベルの提案である
2	評価項目をほぼ満たしているが、期待を下回る提案である
1	評価項目をあまり満たしておらず、期待を大きく下回る提案である
0	評価項目を満たしていない